

保存書類

推移的関数従属

関数従属

ある列の値が決まれば、別の列の値も決まる関係のこと

要は依存関係のこと「依存対象→非依存(依存している側)」

- ・一つの列の値に対してそれ以外の値の組み合わせはないもののこと
- ・複数の選択肢がある場合、それは関数従属ではない

関数従属は特定の列と依存している列の値が返ってくる形の関係

推移的関数従属はその返ってきた列とさらに依存している列の値が返ってくるような形になっているもののことを指す

SSL アクセラレータ：通信の暗号化を復元したり、暗号化する役割

パケットの中身が暗号化により見れないので、wafを利用してその中身を見て、問題の有無を確認する

Wafには暗号化・複合ができないので、httpsで通ってきた暗号化された通信は中身が見れないので

SSL アクセラレータなどで複合された状態のものにしてから確認をする

イノベータ：新商品、サービスをリスクを恐れず最も早い段階で受容する層

アーリーアダプタ：イノベータより遅いが、新商品の情報を周囲の人々に共有するなど、消費者に大きな影響を与える層のこと

レイトマジョリティ：新商品を自らの意思で購入しないが、周囲の大多数に浸透していると判断したら購入する層

ラガード：一番遅い段階で新商品を購入したり、場合によっては全く買わない層

粗利益：売上から原価を引いたもの

薄利多売：たくさん売って利益をだす

粗利益率の計算 粗利益 / 売上

商品・会社の競争力がわかる

同じ系統の商品なら値段を下げることでしか、他社とのビジネスに対して優位には立てない

こういった値下げを価格競争と呼ぶ

粗利益率が高くなるパターン

- ・他社の真似できない製品を作成できる場合、そこでしか売れないので

製品自体の値段を他より高く見積もっても問題ない（粗利益率は高くなる）

- ・材料をまとめて買うと、仕入れ値が割引かれるので、その分をコストを抑えることができる

通常より粗利益率が上がる

粗利益を上げるには

- ・値段を上げる

- ・買ってもらうために必要なこと：高い価格で販売できるように、商品開発やブランド向上

- ・商品開発：他社にはない画期的な製品を作ること、高く製品を売ることができ、粗利益が高くなる

- ・ブランド向上：高いブランドの製品なら、人々が良いイメージを持つので他社と比べて購入してもらいやすい

そのため、日々のブランドの維持・向上を行うことは事業において大事なこと

ブランド＝社外の人々が抱く特定の会社のイメージのこと

- ・原価を下げる

- ・材料をまとめて買うと、仕入れ値が割引かれるので、その分をコストを抑えることができ、通常より粗利益率が上がる

販管費：売上原価以外で、ビジネス活動で費やした費用のこと

商品の製造販売に関わっているかどうかで、従業員の給与の種類を分ける

- ・売上原価：直接製造に関わった人(工場勤務のラインの人)

- ・販売管理費：事業全体にかかわる人(経理、人事)